

令和元年度 第2回 上野原市総合教育会議

議事録

1. 日時及び場所：令和元年12月19日（木）午前11時00分から
上野原市役所 2階 庁議室

2. 出席者：委員
江口市長、和田教育長、
土屋教育長職務代理、白倉教育委員、富田教育委員
降矢教育委員
【事務局】
政策秘書課（守屋、卯月、佐々木）
教育委員会（志村、安藤、織田、関戸）

3. 次第：1 開 会

2 市長あいさつ

3 教育長あいさつ

4 議 事
1 上野原市の教育課題について
・いじめ・不登校について
・ICT教育の推進について
・上野原市教育大綱について

5 閉 会

【司会 事務局：守屋政策秘書課長】

1 開会

2 市長あいさつ【江口市長】

改めまして、おはようございます。

令和元年も残りわずかとなりました。教育委員の皆さまは大変お忙しい日々を過ごしているのではないかと思います。そのような中、本日は総合教育会議にご出席いただき真にありがとうございます。

さて、5月1日から新元号令和として新しい時代が始まり、私も新たな気持ちで住民サービスを充実させるため市長としての職務にあたってきました。

今年を振り返ると、当市では4月の機構改革で危機管理室を設置し、防災に対する備えを強化してきました。皆さまご承知のとおり、今年に関東地方へ大型台風がいくつも上陸し、当市においても大きな被害が発生するなど、改めて災害に対する防災減災への取組の重要性を感じたところであります。

また、教育に目を向けると、新聞の一面に学校教育に関する記事を非常に多く目にしました。今日の議題にもあるいじめ・不登校に関することについて8月の読売新聞にて、10月に山梨日日新聞にて記載があり、10月には神戸市で同僚教師へのいじめ事件も発生し世間を驚かせました。また、ICT教育についても今後の取組について大変重要になってくると思います。

この他にも山梨県知事の25人学級の導入、教員の多忙化、働き方改革に関することについても新聞に一面掲載されています。

このように、学校教育を取り巻く課題は山積みであります。今後、教育委員の皆さまと協力し私の重要施策の一つである教育の充実に向けさらなる取組を進めてまいりたいと思いますので、委員の皆さまにはなお一層のご支援ご協力をお願いしますとともに、これから到来する冬の寒さに向け、体調を整えられ、輝かしい新年を迎えられますよう祈念しまして挨拶とさせていただきます。

3 教育長あいさつ【和田教育長】

改めまして、こんにちは。

江口市長には年末の大変お忙しい中、総合教育会議を開催いただき真にありがとうございます。

教育委員会におきましては、本総合教育会議において協議調整をさせていただく中で教育施策を推進しているところではありますが、第4次産業革命といわれ新たな社会、Society5.0の到来によりまして、今後10年から20年程度で半数近くの仕事が自動化される可能性が高いと言われております。未来が予想しにくい状況となっている中、学校教育におきましては、自己の主体性を軸にした学びの基礎を

固めるということが求められています。

こうした中、来年度より新学習指導要領が実施されますが、教育委員会におきましても昨今の教育諸課題に加え、小学校における英語の教科化やプログラミング教育など指導体制、学習環境の整備に努めているところであります。

こうした機会を通じ協議できますことは子供たちの最適な学びの環境作りを推進する上におきまして、より実効性が高められるものとしまして、改めて感謝申し上げます。

市長には寒さ厳しい折、くれぐれもご自愛いただきますとともに、引き続き教育委員会とともに教育施策の推進にご尽力賜りますようお願い申し上げます。

4 議事

【事務局：守屋政策秘書課長】

要綱の規定により、進行を江口市長にお願いする。

・いじめ・不登校について

【議長：江口市長】

それでは、議事を進めて参ります。

はじめに「いじめ・不登校」を議題とします。

説明を求めます。

【 学校教育課 織田学校教育担当リーダーより説明 】

【議長：江口市長】

ただいまの担当からの説明を踏まえて、皆様からご意見等をいただきたいと思えます。

【降矢教育委員】

いじめについてQ-U調査がいくつかの学校で出ているが、これはすべての学校に調査ができるよう予算立てしてあるのか。

⇒【織田学校教育担当リーダー】

すべての学校分へ年2回分の予算立てをしている。

【議長：江口市長】

不登校者は小中学生24名いるとのことであるが、件数によっては理由にばらつきがあると思うのだが、具体的な理由づけの説明がないので総論的な質問になってしまう。そのあたりについて、教育委員の方の意見をお聞きしたい。

⇒【土屋教育長職務代理】

私のときは教育相談室1人体制で運営していたが、その後教育支援室等設置され、非常にいい形で不登校者への支援が充実してきたと感じている。しかし、今までは集団である程度支援ができる状態であったが、最近は個々対応をしなければならないことが多くなってきているように感じている。

【議長：江口市長】

ひきこもりと不登校の境はどういうふうに切り分けているのか。

⇒【降矢教育委員】

不登校は病気・経済的理由を除き30日以上学校を休んでいる生徒であり、ひきこもりは仕事や学校に行かず、かつ家族以外の方と交流をせず6か月以上続けて自宅に引きこもっている状態の人である。よって、ひきこもりかつ不登校の生徒はいると思われる。

⇒【議長：江口市長】

それについては何かデータがあるのか。

⇒【織田学校教育担当リーダー】

ひきこもりについては福祉課の担当となる。そのようなデータはないが、今後は福祉課と連携を密にしていく。

⇒【議長：江口市長】

ひきこもり・不登校については社会的な問題となっており、現在は40代・50代の引きこもりが多くなっている。ぜひ福祉課と相談してもらいたい。

【富田教育委員】

ひきこもり・不登校にあたっては、子どもたちの中には隠れた要因がある。財政的に厳しいと思うが、潜在的な要因を持っている子供たちを洗い出せるようなものは継続してもらいたい。また、支援室についてもありがたいところがあり、相談員についても担当が対応できない隙間を補っているのではないかと思う。

・ICT教育の推進について

【議長：江口市長】

次に「ICT教育の推進について」を議題とします。

説明を求めます。

【 降矢教育委員より説明 】

【議長：江口市長】

担当課ではICT教育について今後どのような方針、タイムスケジュールを考えて

いるのか。

⇒【織田学校教育担当リーダー】

今後は国の整備計画に沿って、市としての計画も整備していきたいと考えている。

⇒【議長：江口市長】

説明を聞く限りでは、国の方針では来年度から動かないと間に合わないような気がするが、ICT教育についての予算はどのようになっているのか教えてもらいたい。

⇒【織田学校教育担当リーダー】

国の補正予算が12月に閣議決定されたため、これを受けて事務局では財政担当を協議を行っており、3月補正予算で予算計上し、事業については予算を来年度へ繰り越して進めていきたいと思っている。

⇒【議長：江口市長】

具体的に何台くらいの設置を予定しているのか。

⇒【織田学校教育担当リーダー】

各小中学校7校について1人1台ずつのパソコン設置を考えている。

・上野原市教育大綱について

【議長：江口市長】

次に「上野原市教育大綱について」を議題とします。

説明を求めます。

【 学校教育課 関戸教育総務担当リーダーより説明 】

【議長：江口市長】

平成27年に国の方針が変わり、総合教育会議を市長が責任をもって行う制度に変わったが、市長部局として、政策秘書課長からこの案についてどう考えているのか意見を聞かせていただきたい。

⇒【守屋政策秘書課長】

大綱については市長名で作成したものであるため、引き続きこのまま残しておくことでいいと思う。

【議長：江口市長】

現在ある教育大綱を上野原市教育振興基本計画実施期限の令和4年3月まで継続するということであるため、教育委員の皆さまにもご理解いただきたい。

【議長：江口市長】

貴重な意見等をいただき、ありがとうございました。

以上をもって議事が終了しましたので、議長の職を解かせていただきます。
ご協力ありがとうございました。

5 閉会

以 上